

室戸ジオパークで体感する大地との付き合い方 How to Experience and Connect with the Land at Muroto Global Geopark

白井 孝明^{1*}
SHIRAI, Takaaki^{1*}

¹ 室戸ジオパーク推進協議会

¹ Muroto Geopark Promotion Committee

高知県東部の室戸半島に位置する室戸世界ジオパーク。ここでは、地震隆起を続ける大地と共に、したたかに生きてきた人々の歴史や文化が、今も色濃く残っている。海岸近くから急激に立ち上がる大きな海食崖と、それに続く広く平坦な段丘面。この海成段丘こそが、室戸の大地を象徴する地形である。この地形をつくりだしたのは、更新世の氷河性海水準変動と、平均約 2m/kyr という地震性隆起である。最も大きな面積を有する、最終間氷期に形成された段丘面は、高いところで標高が 200m にも達し、室戸の大地の隆起量の大きさを物語っている。

室戸の地域の特徴は、大地隆起の痕跡が人々の暮らしの中に入り込んでいることである。段丘面は、水はけの良い地質や日当たりの良さを活かして農地として広く利用されている。また、かつて遠洋漁業の町としての繁栄を支え、現在も新鮮な魚介類の水揚げで賑わう室戸の港の中には、掘り込み港と呼ばれる、海底を人工的に掘り下げたことで宅地と海面の高低差が 7～8 メートルにもなる独特の光景も目にする。これは、地震で大地が隆起するたびに海底を掘り進めた結果であるとされている。このように室戸の人々は、変動する大地の特性を理解し、その中で生きる術を模索してきたのだ。

室戸世界ジオパークの最大の魅力は、なんといっても地元住民が案内するジオガイドツアーである。大地の成り立ちから人のいとなみまでのストーリーへと、地元ガイドの言葉でいざなってくれる。室戸世界ジオパークでは、現在、3つのジオガイドツアーを体験することができる。

<室戸岬ガイドツアー>

太平洋に突き出た室戸半島の先端、室戸岬には、海岸沿いに遊歩道が整備されている。ここでは、プレートテクトニクス理論を世界で初めて陸上で実証した四万十帯付加体地質に、間近で触れることができるほか、暖流、黒潮の影響によって育まれた亜熱帯性植物群落および海岸植物群の中を散策するガイドツアーを 365 日、体験することができる。

<段ノ谷山ガイドツアー>

室戸世界ジオパークの北部に位置する段ノ谷山サイトでは、幹周りが 10 メートルを超す天然杉の巨木が数十本自生している。地域住民の手で守り継がれてきたこの森には、スギの他にも温暖性の常緑樹が多く自生するほか、シカやサルといった野生動物も多く生息し、付加体でできた大地の上で育まれる豊かな生態系を観察することができる。

<吉良川まちなみガイドツアー>

西部に位置する吉良川まちなみサイトでは、伝統的建造物群保存地区に指定された、土佐の古き良き町並みを見ることができる。明治時代から土佐備長炭の生産によって繁栄を築いてきたこの町には、激しい雨や風が多い室戸の気候の中で暮らしを守るための人々の知恵が、随所に見られる。

室戸岬ガイドツアーでは室戸の大地の成り立ちを、段ノ谷山ガイドツアーではその大地の上で育まれる豊かな生態系を、そして吉良川まちなみガイドツアーでは大地と人の共生の姿を体感することができる。変動する大地を受け入れ、利用し、しなやかに生を紡いできた室戸の人々の生きざまは、変動帯に位置し、地震・火山大国である日本で、私たち日本人がこの先どう生きていくべきかの道標となるかもしれない。

キーワード: ジオパーク, 室戸

Keywords: Geopark, Muroto